取扱説明書

コンパクト

食器洗い乾燥機 家庭用

品番 DW-S2000

SANYO

1. カゴ・庫内・ボディの
   トリプルステンレス
2. 落ちにくい油汚れも削ぎ落とす
   超音波ジェット水流
3. 調理スペースをふさがず置ける
   スリム&コンパクト設計



このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受取りのうえ、この説明書とともに大切に保存してください。

目次

ご使用の前に

安全上のご注意……1~3
お願い……3
入れてはいけないもの……4
落ちない汚れ……4
各部のなまえ……5
ドアの開閉……6
付属品……6
操作パネル部のなまえとはたらき……7~8
コースの切り換わりかた……9

使いかた

便いかた……10
食器のセット……11~12
食器の入れかた……13~14
コース別操作の手順……15~19
・「標準」コース……15
・「スピーディ」コース……16
・「高温」コース……17
・「予洗」コース……18
・「乾燥60分」コース……19
いろいろな運転のしかた……19
お手入れ……20
所要時間の目安……21

その他

仕上がりが悪いと思われる場合……22
据え付け……23~26
こんな表示がでたら……27
ブザー音について……28
凍結・停電・断水したとき……28
別売品……29
アフターサービスについて……30
仕様……裏表紙

上手に使って上手に節電

安全上のご注意　必ずお守りください

※お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

＊ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

⚠ 警告　この表示の欄には、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示の欄には、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

＊内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

定格15A以上の専用コンセントを単独で使ってください

コンセントを単独で

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

交流100Vの専用コンセントを単独で使ってください

禁止



電源プラグのほこり等は定期的にとってください

ほこりを取る

刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している電源プラグは使わないでください。ほこりが付着している場合は、よくふいてご使用ください。
火災の原因になります。



電源コード・電源プラグが傷んでいるとき、差し込みがゆるいときは使用しないでください

使用禁止

感電・ショート・発火の原因になります。
販売店に点検・修理を依頼してください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください

禁止

電源コードを傷付けたり、損傷したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

アースを確実に取り付けてください

アース線接続

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください

ぬれ手禁止

感電やけがをすることがあります。また、お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため電源プラグを抜いてお買求めの販売店に必ず点検修理を依頼してください

プラグを抜く

感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

お手入れは運転終了後30分以降にする

30分は経過後に

自器の取り出し、フィルターやヒーターカバーの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。
やけどをする恐れがあります。



火気や引火物を近付けない

火気禁止

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。
変形や火災の恐れがあります。



本体への水や衝撃は禁物

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。



絵表示の例

△ 記号は、「注意（警告）事項」を示します。
（左図の場合は、「一般注意」を示す。）

⃠ 記号は、「禁止事項」を示します。
（左図の場合は、「分解禁止」を示す。）

● 記号は、「強制事項」を示します。
（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示す。）

⚠ 警告

運転中または、終了後30分間はヒーターカバーに触れない

接触禁止

運転中または運転終了後30分間は絶対にタンクやヒーターやヒーターカバーに触れないでください。やけどをする恐れがあります。



お子様に注意する

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。



ご自分で絶対に分解や修理はしない

分解禁止

改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または当社指定のお客さまご相談窓口にご相談ください。

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す



火災や変形の恐れがあります。

上に重いものや水の入った容器を置かない

禁止

天面の上には、重量が5kgを超えるものは置かないでください。
天面の上には、落下して危険なもの（水や熱湯の入った容器・熱器具・電気製品・ガラス製・刃物類等）は置かないでください。
ドアの開閉で上に置いたものが落ちるとケガをすることがあります。
また、こぼれた水で絶縁が悪くなり、漏電や火災の原因になります。

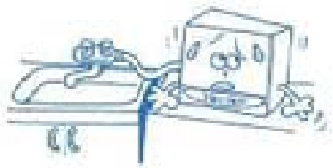


⚠ 注意

本体は、しっかりとした水平な面に据え付けする

禁止

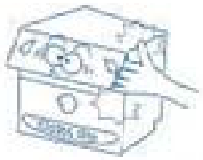
正常な運転ができない恐れがあります。



ドアを開閉するときは、指のはさみ込み等に注意してください

禁止

指のはさみ込みや、角部でのケガに注意してください。



ご使用の前に

安全上のご注意

⚠ 注意

開いたドアや本体を強く押さない

禁止

転倒、落下によりケガをすることがあります。



電源コードの取り扱い

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



高温水や蒸気に注意する

禁止

運転中はドアを開けないでください。高温の蒸気が出て、やけどをすることがあります。洗浄水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。



長期間使用しない時は電源プラグを抜く

プラグを抜く

長期間ご使用にならないとき、旅行があるときは、必ず水栓を閉じ電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



排気口には近付かない

禁止

排気口付近には近寄かないでください。蒸気・湿気によりやけどをすることがあります。



本機からの排水には触れないように注意してください

禁止

高温の場合があり、やけどをする恐れがあります。



お願い

専用洗剤以外は使わないで



- 一般の台所用洗剤を使用すると泡が異常に発生し、運転できません。
- 一般の台所用洗剤が付いた食器は、入れないでください。

※異常表示が出る場合があります。

こんな表示がでたら　参照

テレビやラジオなどの電気製品を近付けないで



- テレビやラジオなどから1m以上離してください。画像の乱れや雑音が入ることがあります。

70℃以上のお湯は使わないで



- 70℃以上のお湯が供給される蛇口には接続しないでください。
  ホースや内部の部品が破損する恐れがあり運転を停止することがあります。

ドアロックの穴や排気口に物を入れたりふさがないで



- ドアロックの穴や本体前面の排気口には指や物を差し込まないでください。故障や事故の原因になります。

入れてはいけないもの

☛ 内の数字は説明のあるページです。

プラスチック容器等の軽くて小さい食器



- 洗浄水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
- ヒーターカバーの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気がしたりするので入れないでください。発煙や故障の原因となります。

ふきん・スポンジなど



- 食器および調理器具以外は入れないでください。発火・発煙の恐れがあります。

びん・便利などの食器・ひびの入った食器



- 口のいさいもの(、中が洗えません。
- ひびが入った食器は割れる恐れがあります。

銀製・洋銀製食器など



- 全色にかわり、その後変色します。

耐熱90℃以下の樹脂製のもの

(耐熱表示のないものも含む)

母乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの



- 変形します。

※まな板についてはまな板の場合　参照

クリスタルグラス・カットグラス・強化ガラス



- クリスタルグラスは、表面が侵食され白くにごります。
- カットグラス・強化ガラスは、水温変化で割れることがあります。

※乾燥のみでの使用は可能です。

漆塗り食器・蒔絵・金箔入りの食器・木製の食器



- はがれる恐れがあります。

アルミ製の鍋や食器



- 白くなり、その後灰色に変色します。

落ちない汚れ

- 手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。こすり落としてから入れるか、手洗いしてください。一般の台所用洗剤で手洗いされた食器を入れるときは、洗剤が残らないように十分に洗い流してください。すすぎが不十分ですと、庫内で泡が異常に発生し、正常に運転できません。

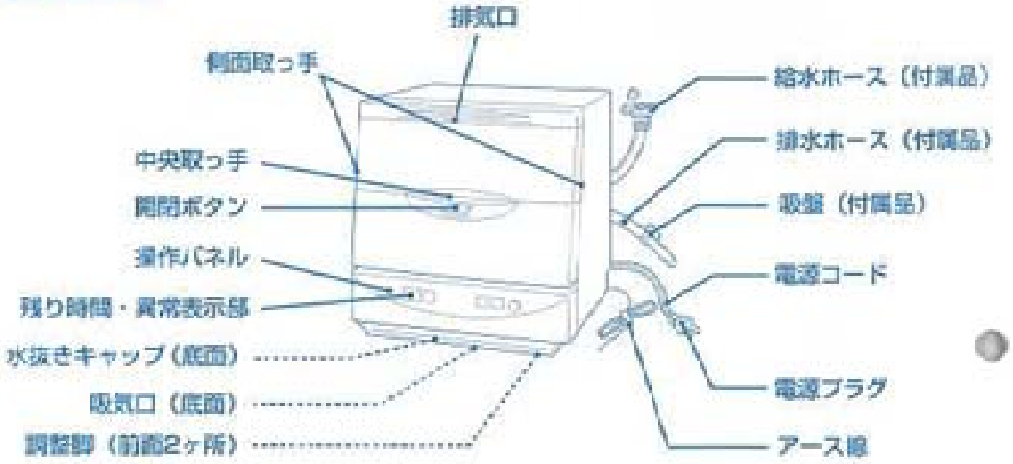
※異常表示が出る場合があります。こんな表示がでたら　参照

(例)

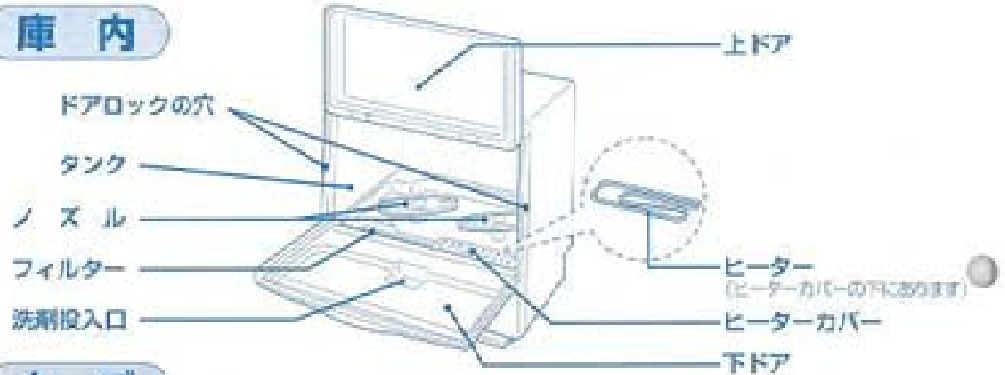


各部のなまえ

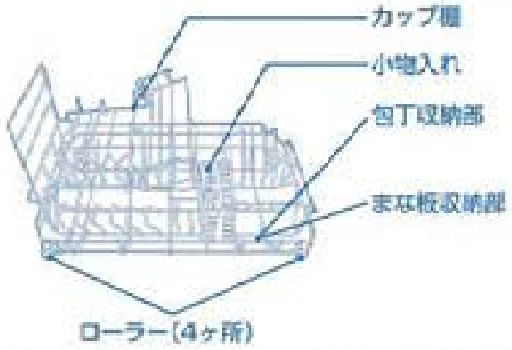
前　面



庫　内



カ　ゴ



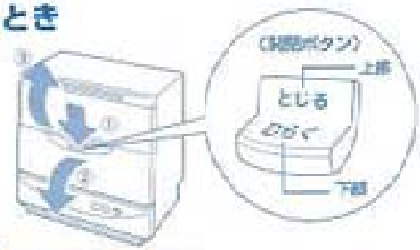
お願い 包丁・まな板収納部には包丁・まな板を同時に入れることはできません。

ドアの開閉・付属品

☛ 内の数字は説明のあるページです。

ドアの開閉

ドアを開くとき



ドアを開く時は、
①開閉ボタンの下部（ひらく側）を押す
②下ドアを開く
③上ドアを開く

下ドアが開けにくいときは、開閉ボタンの下部（ひらく側）を押しながら、中央取っ手を引くとスムーズにドアを開くことができます。

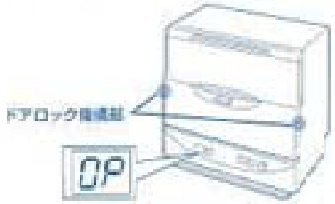
ドアを閉じるとき



ドアを閉じる時は、
①上ドアを閉じる
②下ドアを閉じる
③開閉ボタンの上部（とじる側）を押す
『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

ドアが開まっていないとき

（ブザー音と残り時間・異常表示部に OP と表示してお知らせします）



- ドアが確実に閉まっていないと運転がスタートしません。
- 確実にドアが閉まってない状態で、操作ボタンを押すと、ブザー音と残り時間・異常表示部に OP と表示します。もう一度、ドアの開閉ボタン上部（とじる側）を押し込んでドアを閉めてください。

ドアロック機構部について
- 下ドアの左右にドアロック機構があります。
- 下ドア左右のドアロック機構部の位置を押さえると、確実に左右のドアロックをすることが出来ます。

運転中（高温時）ドアを開くとき



- 運転中にドアを開けないでください。
どうしても開く時は、
①『スタート／一時停止』ボタンを押す。
（運転が止まる）
②開閉ボタンの下部（ひらく側）を押す。
③下ドアを開く
④上ドア側面取っ手を持って上ドアを開く。

- 中央取っ手を持ってドアを開けないでください。
- 上ドアは、しずくのたれがおさまってから開けるようにしてください。しずくが床に落ちたり、やけどをしたりする恐れがあります。

付属品



専用洗剤（100g）
（計量スプーンつき）



給水・排水ホース

- この機種には、『マジックジョイント』を同梱しておりません。
- 水栓に給水ホースを接続するときは、かならず『分岐水栓』か『マジックジョイント』が必要です。

28 据え付け ⑧ 参照

操作パネル部のなまえとはたらき

☛ 内の数字は説明のあるページです。

超音波について

洗い～すすぎ1回目まで超音波発振器により超音波を発生させています。超音波と酵水流で洗剤を溶かし、洗浄力の向上をはかっています。

表示ランプの見かた

○消灯　●点灯　☀点滅

「コース」ボタン

コースを選ぶとき（スタート前）および「乾燥60分」、「カラッと仕上げ」を変更するとき（スタート後）に押します。

- 食器の汚れ具合、洗いかたに応じて押します。

☛ コースの切り換わりかた　参照
☛ 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更　参照

電源スイッチ

押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

オートオフ機能

- スタートせずに放置していると10分後に「切」になります。
- 運転終了後自動的に「切」になります。

（「カラッと仕上げ」を取り消したときは、運転終了後10分間、間欠送風運転を行った後に「切」になります。）

- 電源「切」の場合でも電源プラグを差し込んだ状態では、電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しております。



残り時間・異常表示部

運転中は、残り時間の目安を表示します。

- 「カラッと仕上げ」の所要時間は、残り時間に含まれていません。
- 残り時間が99分をこえるときは、2Hと表示します。

☛ 残り時間表示の途中修正について　参照

異常が発生したとき点滅表示とブザー音でお知らせします。

☛ こんな表示がでたら　参照

「給湯」ボタン・「給湯サイン」ランプ

このボタンは給湯配管に接続したときに使用します。

- スタート前にボタンを押すと「給湯サイン」ランプが点灯し、給湯仕様になります。（ランプ消灯時は給水仕様です。）
- 給湯仕様で運転が終了すると、次回運転するときは、自動的に「給湯サイン」ランプが点灯し、給湯仕様になります。

☛ 給湯接続について　参照

※「標準」「スピーディ」「高温」コースで設定できます。

- 給水配管に接続して運転するときは、「給湯サイン」ランプが消灯していることを確認してください。
  ランプが点灯しているときは、このボタンを押して、ランプを消灯してください。
- 電源プラグをコンセントから抜くと初期設定の給水仕様になります。

カラッと仕上げ

乾燥行程後の食器や庫内の結露を防ぐため、間欠送風運転を約60分間行います。（ヒーターは入りません。）

- 各コース終了後、自動的に入ります。間欠音がしますが、異常ではありません。（予洗コースは除く）
- 「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。

☛ 「カラッと仕上げ」の変更　参照

- 「カラッと仕上げ」中は「スタート／一時停止」ボタンは受け付けません。ドアを開くと一時停止状態となり、ドアを閉めると運転を再開します。
- 「カラッと仕上げ」中に運転を止める場合は、電源スイッチを「切」にしてください。
- 「カラッと仕上げ」中にドアを10分以上開いていると、自動的に電源スイッチが切れます。

「スタート/一時停止」ボタン

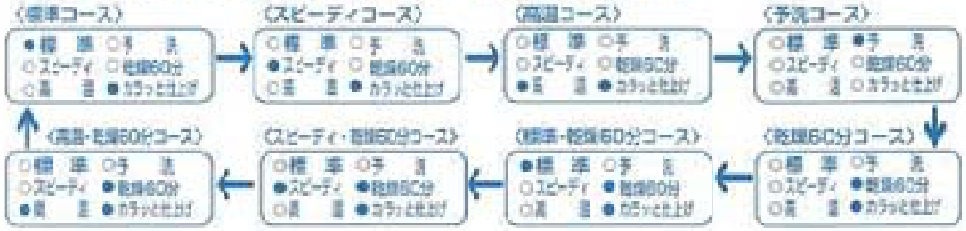
運転を「スタート」または「一時停止」させるときに押します。

- 一時停止させた後、再びスタートさせるときは、もう一度押します。
- 運転中にドアを開くときは、ボタンを押して一時停止状態にしてからゆっくり開けてください。再びスタートさせるときは、ドアを閉めてからもう一度ボタンを押してください。
  ボタンを押さずにドアを開けた場合も、自動的に一時停止状態になります。

コースの切り換わりかた

コースの切り換わりかた

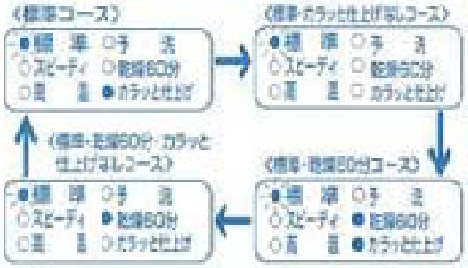
スタート前に「コース」ボタンを押すと、下記の様に変わります。



「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更

スタート後に「コース」ボタンを押すと、下記の様に変わります。

〈「標準」コースの場合〉



〈「乾燥60分」コースの場合〉



「スピーディ」「高温」コースの場合も、「標準」コースと同様に変更できます。
但し、「予洗」コースでは変更できません。

コースボタンを押しまちがえてスタートした場合

- 電源スイッチを「切」にしてもう一度やりなおしてください。

コースの記憶について（電源スイッチを「切」にしても記憶しています）

- 「標準」「スピーディ」「高温」コースを運転すると自動的にコースを記憶します。
  次回電源スイッチを「入」にすると前回使用した運転コースが表示され「スタート/一時停止」ボタンを押すだけでワンタッチスタートができます。
- 「予洗」「乾燥60分」コースを運転した場合はコースを記憶しません。

使いかた

☛ 内の数字は説明のあるページです。

運転前の準備

① アース線が接続されているか確認する
② 排水ホースを、流し台のシンクへ排水できるようにセットする
（無理な力がかからない状態で、ホースの先端を吸盤で確実に固定して下さい。）
③ 給水ホースをつなぐ
④ 電源プラグをコンセントに差し込む



☛ 23 ～ 26 置き付け 参照

※給水・排水ホースが折れ曲がっていると異常を検知し、運転を停止することがあります。
※給水ホースが正しく取り付けられていないと水もれの原因となります。

食器を入れる前に

① フィルターとヒーターカバーが正しくセットされているか確認する
ノズルが手で軽く回ることを確認してください



② 食器の残菜（食べ残し）を取り除く
（ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、魚の骨、つまようじ、輪ゴムなどは取り除いてください。）



☛ 4 入れてはいけないもの・落ちない汚れ 参照

食器をセットする

① カゴをゆっくり引き出し、食器をセットする
② カゴを押し込み、洗剤投入口に洗剤を入れる
③ 上ドアを閉めてから、下ドアを閉める

☛ 13 ～ 14 食器の入れかた 参照
☛ 8 お願い 参照
☛ 8 ドアの開閉 参照

運転後のあとしまつ

⚠ 警告

30分前後経過後に

乾燥終了直後はフィルター取っ手やヒーターカバー及びヒーターの表面が熱くなっています。
食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れは、乾燥終了後約30分たって庫内が冷えてから行ってください。
やけどをする恐れがあります。

フィルターのお手入れをする
① フィルターを取り出す
フィルターを取り出す時、ノズルが当らないように、ノズルの位置を横に向けてください
（残菜を庫内に落とさないように注意してください。）
② たまった残菜を捨て、フィルターを洗う
③ フィルターをもとどおり排水口部にセットする
④ ノズルが手で軽く回ることを確認してください



ご注意 フィルターを洗わないと目づまりして正常な運転ができなくなる場合があります。
下部フィルター及びヒーターカバーに残菜がたまった場合は取り除いてください。
ヒーターカバーの下に残菜が付着した場合は取り除いてください。

☛ 27 下部フィルターのお手入れ・ヒーター部のお手入れ 参照

下部フィルター部に排水がありますが異常ではありません。

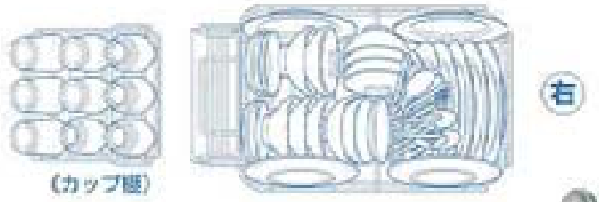
食器のセット

標準的な食器のセット例

5人用のセット例

茶わん……5点
湯飲わん……5点
大　皿……5点
中　皿……5点
小　皿……6点
湯のみ……4点
コップ……5点
} 計35点

小物（はし／スプーン／フォーク）



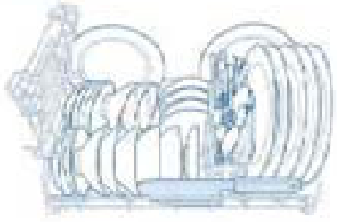
※食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。
※特に大きい食器類は、食器間のスキ間を取るため1つおきに入れてください。
※カゴは左右逆向けに使うことができます。

包丁・まな板の場合

包丁の場合
- 包丁をセットするときは、ケガ防止のために刃の部分を下向きにして入れてください。
- 運転終了後のフィルターのお手入れは、包丁を片づけてから行ってください。
- 鉄製の包丁はさびることがありますのでさけてください。

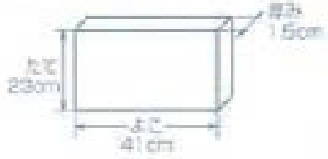
まな板の場合
- まな板は汚れのひどい側を内側に向けてください。
- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。
  また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなっています。取り扱いには十分注意してください。

※まな板を入れた場合、セットできる食器は約33点になります。（2t入れの時は、約32点）
※食器の形状・大きさによっては、まな板がセットできない場合があります。



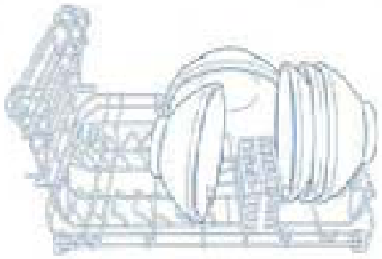


洗えるまな板の大きさ
- 厚み1.5cm以下、たて23cm以下、よこ41cm以下

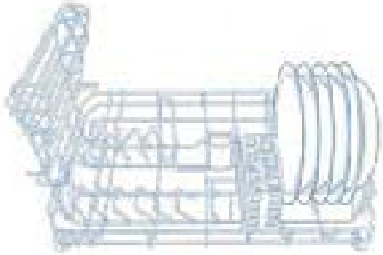


いろいろな食器のセット例

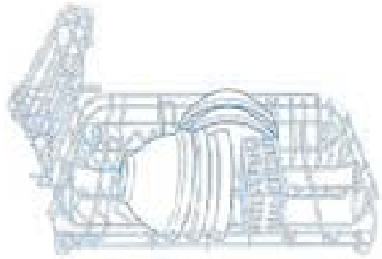
ラーメン鉢の場合



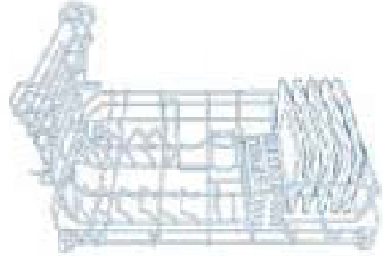
カレー皿の場合



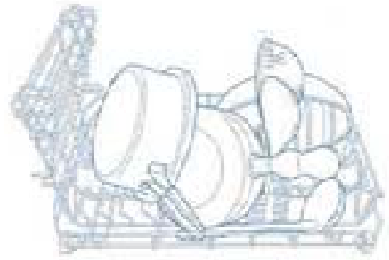
どんぶり鉢の場合



角皿の場合



調理器具の場合



※形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

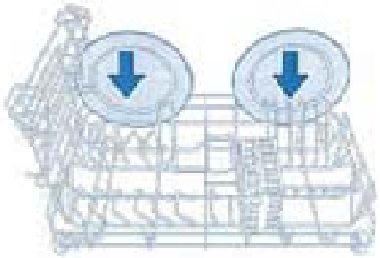
食器の入れかた

☛ 内の数字は説明のあるページです。

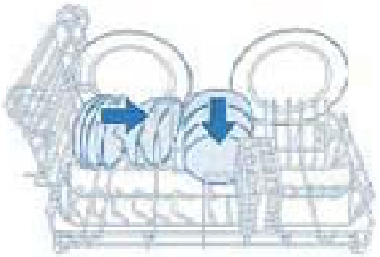
5人用食器の入れ方（食器は汚れた面が矢印方向に向くようにセットしてください。）

かごをゆっくり引き出します

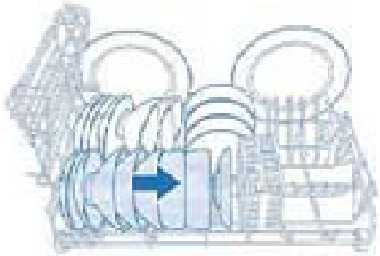
1 カップ棚を上げて、中皿（2枚）をセットする



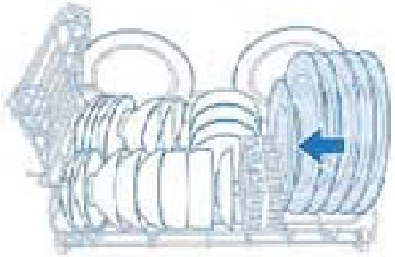
2 小皿（3枚）茶わん（2個）汁わん（3個）を入れる



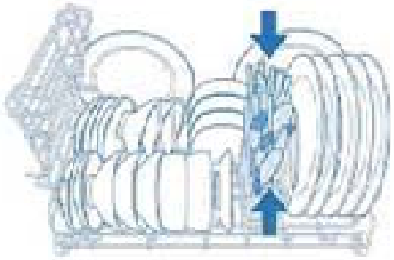
3 小皿（3枚）茶わん（3個）汁わん（2個）を入れる



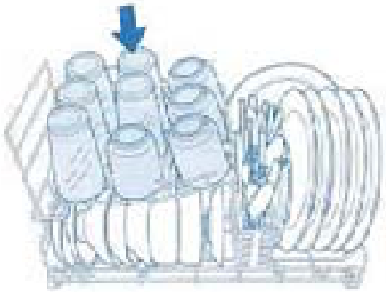
4 大皿（5枚）中皿（1枚）を入れる



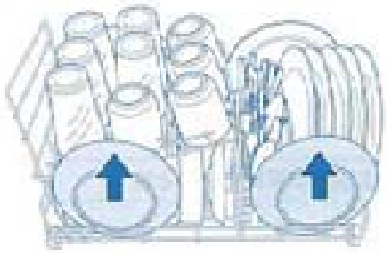
5 はしは汚れた方を下に、その他の小物は汚れた方を上にして入れる



6 カップ棚をおろしてコップ、湯のみをおく



7 中皿（2枚）を入れる



かごをゆっくり押し込みます
上ドアを閉めてから
下ドアを閉めてください
☛ ドアの開閉　参照

お願い

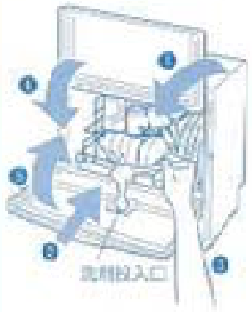
小物が小物入れの穴から落ち出さないように注意してください。
プラスチック製のはしやフォーク、スプーン、バターナイフなどは特に注意してください。
落下して、ヒーターカバーやヒーターに触れると溶けたり、臭いの原因になります。

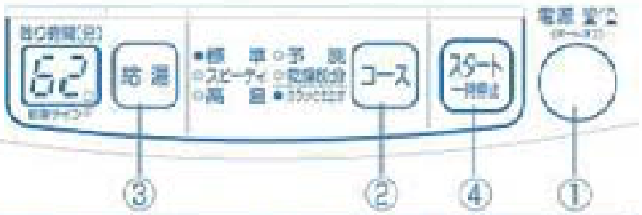
コース別操作の手順

☛ 内の数字は説明のあるページです。

標準コース　食後すぐに洗うとき（ふつうの汚れのとき）

● 点灯
○ 消灯





水栓を開く（水栓を開け忘れると運転できません。）

❶食器をカゴにセットする　13 ～ 14 食器の入れかた 参照
❷カゴを庫内に押し込む
❸洗剤投入口に専用洗剤を約一杯分入れる　3 お願い 参照
❹上ドアを閉める　5 ドアの開閉 参照
❺下ドアを閉める

① 電源スイッチを押す

② コース 「コース」ボタンを押し「標準」コースを選ぶ（表示は「標準・乾燥60分」コース）


OP表示が出たらうら一度ドアを閉め直してください

③ 給湯 給湯接続で運転するとき『給湯』ボタンを押す
すでに「給湯サイン」ランプが点灯している時は、ボタンを押さないでください。
7 「給湯」ボタン・「給湯サイン」ランク 参照

④ スタート 一時停止 「スタート／一時停止」ボタンを押す

ブザーが3回鳴ったら運転終了
（その後「カラッと仕上げ」に入ります。）

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき

コース スタート後「コース」ボタンを押し変更する　9 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

「標準」コースとは

洗い（約60℃）
↓
すすぎ3回または2回
↓
加熱すすぎ（約70℃）
↓
乾燥
↓
カラッと仕上げ
を行うコースです。

※「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。
※給湯接続で運転した場合すすぎ2回目終了後の水温が約40℃以上あるとすすぎが2回になります。

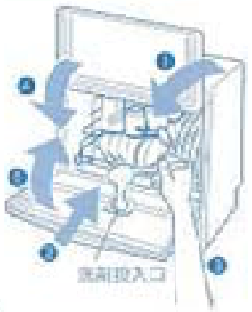
ご注意

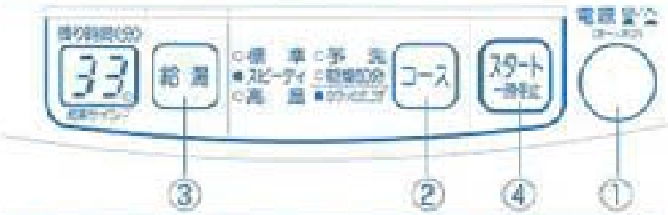
- ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
  万一のぬれを防止するためです。

水栓を閉める
フィルターのあとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当らない様に、ノズルの位置を横に向けてください
（運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。）
17 運転後のあとしまつ 参照

スピーディコース　事前につけ置き洗いや水洗いをしたとき（軽い汚れのとき）

● 点灯
○ 消灯





水栓を開く（水栓を開け忘れると運転できません。）

❶食器をカゴにセットする　13 ～ 14 食器の入れかた 参照
❷カゴを庫内に押し込む
❸洗剤投入口に専用洗剤を約一杯分入れる　3 お願い 参照
❹上ドアを閉める　5 ドアの開閉 参照
❺下ドアを閉める

① 電源スイッチを押す

② コース 「コース」ボタンを押し「スピーディ」コースを選ぶ（表示は「スピーディ・乾燥60分」コース）


OP表示が出たらうら一度ドアを閉め直してください

③ 給湯 給湯接続で運転するとき『給湯』ボタンを押す
すでに「給湯サイン」ランプが点灯している時は、ボタンを押さないでください。
7 「給湯」ボタン・「給湯サイン」ランク 参照

④ スタート 一時停止 「スタート／一時停止」ボタンを押す

ブザーが3回鳴ったら運転終了
（その後「カラッと仕上げ」に入ります。）

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき

コース スタート後「コース」ボタンを押し変更する　9 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

「スピーディ」コースとは

洗い（約52℃）
↓
すすぎ2回
↓
加熱すすぎ（約63℃）
↓
カラッと仕上げ
を行うコースです。
（乾燥行程は含みません。）
※「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。

ご注意

- ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
  万一の水もれを防止するためです。

水栓を閉める
フィルターのあとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当らない様に、ノズルの位置を横に向けてください
（運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。）
17 運転後のあとしまつ 参照

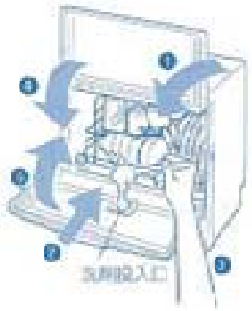
コース別操作の手順（つづき）

☛ 内の数字は説明のあるページです。

高温 コース

数時間たってから洗うとき
（油汚れの多いとき）

● 点灯
○ 消灯





水栓を開く（水栓を開け忘れると運転できません。）

❶食器をカゴにセットする ☛ 13 ～ 14 食器の入れかた 参照
❷カゴを庫内に押し込む
❸洗剤投入口に専用洗剤を約一杯分入れる ☛ 3 お願い 参照
（注）汚れの多いとき、約一杯半～約二杯入れる）
❹上ドアを閉める ☛ 6 ドアの開閉 参照
❺下ドアを閉める

① 電源スイッチを押す

② コース 「コース」ボタンを押し「高温」コースを選ぶ
（あとは「給湯・乾燥60分」コース）



③ 給湯 給湯接続で運転するとき「給湯」ボタンを押す



☛ 7 「給湯ボタン・給湯サイン」ランプ 参照

④ スタート/一時停止 「スタート/一時停止」ボタンを押す

ブザーが3回鳴ったら運転終了
（その後「カラッと仕上げ」に入ります。）

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき

コース スタート後「コース」ボタンを押し変更する ☛ 8 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

「高温」コースとは

洗い（約60℃）
↓
すすぎ3回
↓
追焚すすぎ（約60℃）
↓
乾燥
↓
カラッと仕上げ

を行うコースです。
（「標準」コースより、洗いを約15分間長く行います。）
※「カラッと仕上げ」は取り消すことができます。

ご注意

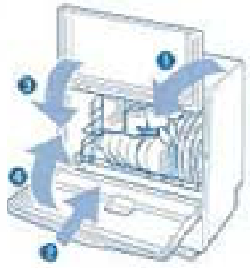
- ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
  万一の水もれを防止するためです。

水栓を閉める
フィルターのあとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当らない様に、ノズルの位置を横に向けてください
（運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。）
☛ 10 運転後のあとしまつ 参照

予洗 コース

あとでまとめて本洗いしたいとき
汚れを先に軽く落としておきたいとき

● 点灯
○ 消灯





水栓を開く（水栓を開け忘れると運転できません。）

❶食器をカゴにセットする ☛ 13 ～ 14 食器の入れかた 参照
❷カゴを庫内に押し込む
（注）洗剤は入れないでください。
❸上ドアを閉める ☛ 6 ドアの開閉 参照
❹下ドアを閉める

① 電源スイッチを押す

② コース 「コース」ボタンを押し「予洗」コースを選ぶ



③ スタート/一時停止 「スタート/一時停止」ボタンを押す

ブザーが3回鳴ったら運転終了

お願い

- ご使用後は、「標準」「スピーディ」「高温」コースのいずれかで洗い直してください。

「予洗」コースとは

予洗い
を行うコースです。
（ヒーターは入りません。）
（すすぎ行程、乾燥行程は含みません）

※約4分間で終了します。

ご注意

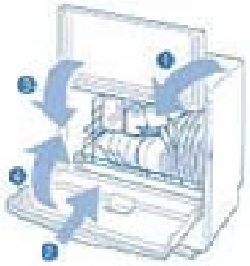
- ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
  万一の水もれを防止するためです。

水栓を閉める
フィルターのあとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当らない様に、ノズルの位置を横に向けてください
（運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。）
☛ 10 運転後のあとしまつ 参照

コース別操作の手順（つづき）

乾燥60分 コース　手洗いした食器を乾燥するとき 食器をあたためるとき

● 点灯
○ 消灯





❶食器をカゴにセットする　13 ～ 14 食器の入れかた 参照
❷カゴを庫内に押し込む
❸上ドアを閉める
❹下ドアを閉める
8 ドアの開閉 参照

① 電源スイッチを押す

② コース 「コース」ボタンを押し「乾燥60分」コースを選ぶ



OP表示が出たらもう一度ドアを閉めてください

③ スタート/一時停止 「スタート/一時停止」ボタンを押す

ブザーが3回鳴ったら運転終了
（その後「カラッと仕上げ」に入ります。）

『乾燥60分』コースとは

乾燥 ⇒ カラッと仕上げ を行うコースです。
（洗い行程、すすぎ行程は含みません。）
※『カラッと仕上げ』は取り消すこともできます。

『乾燥60分』・『カラッと仕上げ』の変更をするとき

コース スタート後「コース」ボタンを押し変更する　9 『乾燥60分』・『カラッと仕上げ』の変更 参照

いろいろな運転のしかた

終了ブザー音を消したい場合



- 電源スイッチ「入」の状態で「スタート/一時停止」ボタンを約3秒間押し続けます。「ピー」とブザーが鳴ったら設定完了です。

再び終了ブザーを鳴らしたい場合

- 電源スイッチ「入」の状態で「スタート/一時停止」ボタンを約3秒間押し続けます。「ピッ」とブザーが鳴ったら設定完了です。

※スタート時及び運転中いつでも設定できます。ただし、運転中に行うと一時停止状態になりますので、その際は、「スタート/一時停止」ボタンを押し再スタートしてください。
※停電したときや電源プラグを抜いた場合、終了ブザーが鳴る状態にもどります。

排水したい場合

- 排水のみをしたいときは、「コース」ボタンで「乾燥60分」コースを選んで運転してください。スタート後約1分ぐらいで排水は完了しますので、必ず電源スイッチを「切」にしてください。電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。

コースボタンを押しまちがえてスタートした場合

- 電源スイッチをいったん「切」にし、はじめからやり直してください。

お手入れ

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、庫内が冷えてから行ってください。運転終了直後は底にあるヒーターやヒーターカバーが高温のため、さわるとやけどをする恐れがあります。

本体のお手入れ

本体表面は、ぬれたやわらかい布で汚れをふいてください。
- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックスなどの使用はやめてください。（塗装面やプラスチック部を傷めます。）
- 前部の排気口にゴミがつまったときは、掃除機などで取り除いてください。



ドアやタンクの内面は、やわらかい布でていねいにふいてください。
- においや内面の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してください。（ただし、カゴは入れて運転してください。）

ノズルのお手入れ

- ノズルの穴に異物がつまった場合は、まず、カゴを取り出しノズルの穴の異物をつまようじなど先のとがった物で取り除いてください。（この時、ノズルに大きな力を加えないでください。故障の原因になります。）
- ノズルが手で軽く回ることを確認してください。
- ノズルは、はずれない構造になっていますので、絶対にはずさないでください。



下部フィルターのお手入れ

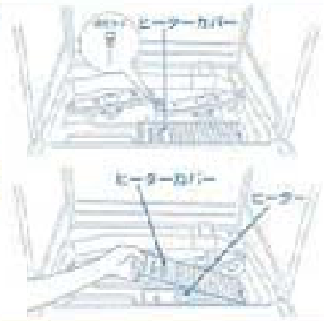
再汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。
- 下部フィルターが目づまりした場合には、ネジをプラスドライバーではずし、下部フィルターを取り出して、たまった残菜をきれいに取り除いてください。
- 異物がつまったままの状態ですと、ノズルからの水の出が悪くなり、正常に運転しない場合があります。
- 下部フィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常では ありません。

※下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。



ヒーター部のお手入れ

ヒーター部のお手入れは、運転終了後約30分たって庫内が[illegible]てから行ってください。
ヒーターカバーの下に汚れが付着したり、小物が落下した場合は、つぎの手順でお手入れしてください。
① 固定ネジをドライバーを使ってはずしてください。
② ヒーターカバーの左端を軽く持ち上げたままお手入れしてください。
※ ヒーターカバーは無理に取りはずさないでください。ヒーターカバー及びヒーターの変形や傷の原因になります。
③ お手入れ終了後、ヒーターカバーをもとの位置にセットしドライバーで固定ネジを確実に固定してください。



長期間使用しない場合

- 水栓は、必ず閉めてください。万一の水もれを防止するためです。
- フィルター及び下部フィルターにたまった残菜をきれいに取り除いてください。
- カゴから食器を取り出してください。
- 本体底面にある、水抜きキャップを外して、庫内の残水を抜いてください。水抜き後、必ず水抜きキャップをもとの位置に正しく取り付けてください。
- 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、カゴには食器を入れずに空運転してからお使いください。

所要時間の目安

☛ 内の数字は説明のあるページです。

●下表の所要時間は、給水は給水温度20℃、給湯は給湯温度60℃の場合の目安です。
（給水量約8L/分、室温20℃の時）
（所要時間は、水温・水圧・室温によって変わります。
下表の所要時間には、「カラッと仕上げ」の時間は含みません。）

コース	給水/給湯	所要時間	所要時間の内訳 給湯準備	洗い	すすぎ 1 2 3	加熱すすぎ	乾燥	説明のページ
標準	給水	約62分		16分		26分	20分	15
	給湯	約43分	1分	10分		※ 12分	20分	
スピーディ	給水	約33分		13分		20分		16
	給湯	約16分	1分	7分		8分		
高温	給水	約82分		31分		31分	20分	17
	給湯	約64分	1分	25分		18分	20分	
予洗	――	約4分		4分				18
乾燥60分	――	約60分					60分	19

※すすぎ2回目終了後の水温が約40℃以上あるときは3回目のすすぎは行いません。
（水温に関係なく各1分間すつすすぎを行います。）

給湯接続について

●給湯配管に接続して、「給湯」ボタンを押し、「給湯サイン」ランプが点灯しているときは、スタート直後に給湯準備行程を行います。
●給湯準備行程では、給湯配管にたまった冷たい水を排水し、洗浄開始から給湯温度で食器の洗浄を行うために、約1分間の給・排水を行います。

残り時間表示の途中修正について

●残り時間表示は、途中で修正を行い、目安の時間表示を変えています。これは、室温や給水温度・食器の数・ドアの開閉などによって運転時間が変わるためです。故障ではありません。
●途中修正のしくみ



●一時停止やドアを開閉して、再スタートしたとき、残り時間表示が変わる場合があります。これは、水温の変化を検知して、運転時間を変えているためです。

乾燥60分について

●冬場など、食器が乾きにくい場合は、「乾燥60分」を設定して下さい。
9 「乾燥60分」の変更 参照
●「乾燥60分」を設定すると、所要時間は上表より、「標準」「高温」コースで約40分、「スピーディ」コースで約60分長くなります。

カラッと仕上げについて

●「カラッと仕上げ」を設定すると、所要時間は上表より約50分長くなります。

仕上がりが悪いと思われる場合

食器の糸底部に水が残る場合



●食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、糸底部に水が少し残ることがありますが、異常ではありません。

ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合



●水に含まれているミネラル分のためで、洗剤やすすぎ不足によるものではありません。
●水質硬度の高い地域では洗剤を多め（一杯半～二杯）に入れてください。

洗えていないものがある場合



●食器や小物が重なりすぎていませんか。
●小物や食器の一部がカゴからはみだして、ノズルの回転を止めていませんか。

庫内に水滴が残る場合



●運転終了後にタンクの天井やドアの内面に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
●「カラッと仕上げ」を使用すると、結露現象による水滴の付着が防げます。

食器が黄色く、または薄黒くなっているとき



●水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。ときどきは食器をこすって洗ってください。

ガラス食器類が白くくもるとき

●表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、侵食が進み白くくもることがあります。
●洗浄温度の低い「スピーディ」コースの使用をおすすめします。

その他仕上がりが悪い場合

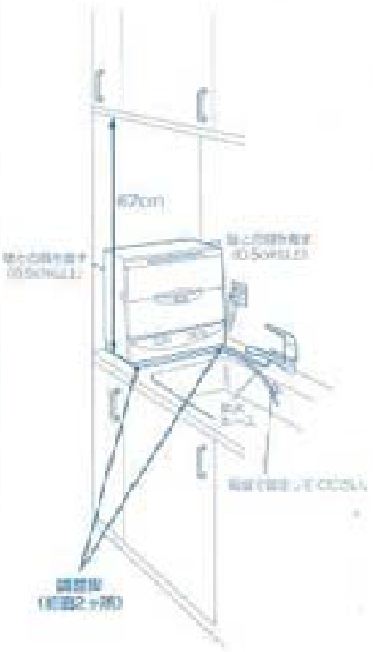
●食器の汚れた面が上向きになっていませんか。
●食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もってよく落としてから入れましたか。
●むりな入れかたをしていませんか。
●コースの選択は適切でしたか。
●フィルターを正しくセットしていますか。
●洗剤を入れ忘れていませんか。
●専用洗剤以外の洗剤を使用していませんか。
●フィルターが目づまりしていませんか。

据え付け

☛ 内の数字は説明のあるページです。

- ◆ 本体やカゴに貼ってあるテープや緩衝材などは、全部取りはずしてください。
- ◆ 付属品を確認してください。☛ 付属品　参照

1 設置場所について



⚠ 警告

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す



火災や変形の恐れがあります。

- しっかりとした水平な面に設置してください。
  本体前面2ヶ所の調整脚を調整し、水平にガタツキなく設置してください。
  傾いた場所では正しく動作しないことがあります。
- 本機はドアが上に開くため、設置面から上方に67cm以上の空間があれば　設置できますが、排気口から蒸気が出て結露する場合があるため、上方の空間をできるだけあけて設置することをおすすめします。
- 給水、排水に便利なように、流し台や調理台の上に置くのが理想的です。排水が高温のため、シンクがポコンと音を出すことがありますが異常ではありません。
- 凍結の恐れのある場所（室温0℃以下）や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。
- キッチン内部など、本体周囲が密閉された場所への設置はしないでください。
- ガスコンロなどの熱源からは、15cm以上離してください。
- 本体と壁との間は、0.5cm以上離してください。
  設置基準適合により、壁にくっつけて使用できますが、壁の振動防止のため上記寸法以上離すことをおすすめします。

2 電源について

電気工事は、電気設備基準に準じて行ってください。

⚠ 警告

コンセントは専用に

- 交流100V、15A以上の専用コンセントをご使用ください。
  火災の原因となりますのでタコ足配線は絶対にしないでください。



3 アースについて　※アース工事費は、有料です。

⚠ 警告

アース線接続

万一の感電防止のため、必ずアースをしてください。また、アースのほか漏電ブレーカー（定格電流20A・感度電流30mA）の取り付けをおすすめします。（詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。）
※アースの取りはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンセント部にアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に取り付けてください。

コンセント部にアース端子がない場合



※D種接地工事（第3種接地工事）が必要ですので販売店にご相談ください。
（アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています）

アース線を取り付けてはいけない場所（法令などで禁止されています。）

次のような場所にはアース線を絶対に取り付けないでください。
- ガス管・・・・・・・・爆発や引火の危険があります。
- 電話線や避雷針・・・落雷のとき危険です。
- 水道管・・・・・・・・途中より塩ビ管になっているところが多いため避けてください。

4 水道水圧の確認

- 給水の水圧は、0.03MPa（0.3kgf/cm²）以上、1MPa（10kgf/cm²）以下です。
  水圧が低すぎると給水に時間がかかり、運転時間が長くなります。

5 給湯接続の場合

- 給湯配管への接続は、水道工事店、またはお買い上げの販売店へご相談ください。
  10号以上の元止め式給湯器に接続してください。元止め式の給湯器には絶対に接続しないでください。
  ※流し台の上につける湯沸器は、元止め式ですので絶対に接続しないでください。
  70℃以上のお湯が供給される蛇口には接続しないでください。ホースや内部の部品が破損する恐れがあり、運転を停止することがあります。

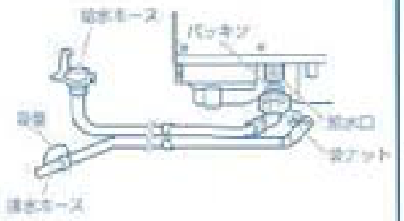
据え付け（つづき）

☛ 内の数字は説明のあるページです。

6 本体に、給水ホースを接続します。

給水ホースの接続

- 給水ホースの接続は、左右どちらか方向を決めてから袋ナットが止まるまで締め付け固定します。
  パッキンは、袋ナットの中に入っています。



注意 袋ナットを締め付けた後、ホースを回転させるとナットがゆるみ、水もれの原因となります。
給水口の内部に入っている部品は取りはずさないでください。
給水量を調整するための フローコントローラーが入っています。

給水ホースの延長のしかた

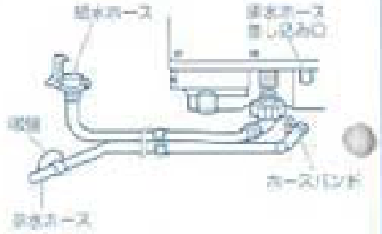
- 別売の給水ホースを、接続してください。 ☛ 別売品 参照

注意 給水ホースは切らないでください。水漏れの原因になります。

7 本体に、排水ホースを接続します。

排水ホースの接続

- 排水ホースの接続は、排水を出す方向を決めてから、ホースバンドをゆるし、排水ホースを差し込み口に挿入します。
- ホースバンドで固定します。
- ホースが折れていないことを確認してください。
  また、ホースの先端を水につけないでください。
- ホースを吸盤で固定してください。 ☛ 据え付け 1 参照



注意 反対方向に引っ張ると、ホースがねじれ、排水不能になることがあります。
排水ホースの先端は設置面より低くしてください。また、途中を立ち上げる時は、20cm以下にしてください。

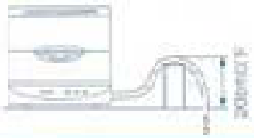
排水ホースの延長のしかた

- 別売の排水ホースを、接続してください。 ☛ 別売品 参照

注意 排水ホースが長すぎるときは、切ってください。長すぎると途中で折れ曲がり、排水できなくなります。吸盤は、必ずつけ直してください。（吸盤及びシンクは、常に汚れが付着していない様にお手入れしてください。）
排水ホースは根元まで確実に差し込み、ホースバンドで必ず固定してください。



注意 延長後の排水ホースの高さは設置面より20cm以下、ホース先端の排水口は設置面より低くしてください。
ホース先端についていた吸盤をはずし、延長されたホースの先端につけかえてください。
延長後の排水ホースの全長は2.5m以内にしてください。



8 水栓に「分岐水栓」または「マジックジョイント」を取り付けます。

- この製品には、「マジックジョイント」を同梱しておりません。
- 水栓の形に合わせて「分岐水栓」または「マジックジョイント」をお買い求めください。
- 「分岐水栓」または「マジックジョイント」については、現在お使いの水道水栓をお調べの上、販売店にご相談ください。
- 水栓への取り付けは、「分岐水栓」または「マジックジョイント」の説明書に従ってください。

分岐水栓について

上部分岐水栓 (CB-EB)	自在分岐コック (CB-F4)	シングルレバー用水栓 (CB-SSS)	分岐ソケット (CB-S268)
			

- これ以外の分岐水栓も用意しております。購入・取り付けに関しては、販売店とよくご相談ください。

マジックジョイントについて



マジックジョイント
☛ 別売品 参照



注意
- すでに古いマジックジョイントがついている場合は、必ず別売の「分岐水栓」又は新しいマジックジョイントに取りかえてください。
- 自在水栓、混合水栓の場合には別売の「分岐水栓」をご使用ください。

9 「分岐水栓」または「マジックジョイント」に給水ホースを接続します。



①給水ホースのスリーブを引き下げたままで分岐水栓またはマジックジョイントに差し込む。

②スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで十分に差し込む。

③ロックレバーがつば部にかかっているのを確認した後、ホースを下へ引いて、完全に取り付けができているか確認する。

こんな表示がでたら

●残り時間・異常表示部の点滅とブザー音でお知らせします。（ブザーは3回鳴ります。）

表示部	症状	点検・処置のしかた
0P	●電源スイッチを入れ、いずれかの操作ボタンを押したときブザー音が3回鳴る （残り時間・異常表示部に0Pが表示されます）	●ドアが閉まっていません。 ドアを確実に閉めてください。 8 ドアの閉閉 参照

●残り時間・異常表示部の点滅とブザー音でお知らせします。（ブザーは5分間隔で16回鳴ります。）
下表の点検・処置を行なってください。

表示部	症状	点検・処置のしかた
「表示なし」	●全然運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれていますか。 ●電源スイッチを入れましたか。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電していませんか。 23 停電したとき 参照 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
	●電源スイッチが『切』の状態で排水ポンプが動作している	●修理が必要です。 電源スイッチが「切」の状態であっても給水異常を検知した場合は、水漏れを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。 必ず水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
「数字の表示」	●全然運転しない	●「スタート／一時停止」ボタンを押しましたか。 ●ドアは確実に閉まっていますか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
E1	●水が入らない	●水栓を開いていますか。 ●断水していませんか。 27 断水したとき 参照 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
	●ドアを開けても水が出つづけている	●給水が止まらない場合。 必ず水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
E2	●排水されない	●フィルターに残菜がたまって、目づまりしていませんか。 10 運転後のあとしまつ 参照 ●排水ホースが折れ曲がったりつまったりしていませんか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
E3	●庫内に泡が異常に発生し、排水運転を行った	●専用洗剤以外をご使用されていませんか。 3 お願い 参照 ●一般の台所用洗剤で手洗いされたときは食器に付いた洗剤を十分に洗い流されましたか。 4 落ちない汚れ 参照 ●上記にあてはまる場合は、庫内の泡を洗い流すために、予洗コースで運転を行ってください。もし、予洗コースの運転途中に「E3」が出る場合は電源スイッチを「切」にし、再度「入」にした後、もう一度、予洗コースで運転を行ってください。 ●庫内の泡を洗い流した後、最初から操作をやり直してください。
	●異常に水位が高くなり排水運転を行った	●上記にあてはまらない場合。 必ず、水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

表示部	症状	点検・処置のしかた
E7	●運転中に水位が下がる	●給水圧が異常に低くありませんか。 ●食器類が上向きにセットされていませんか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
E4、E5 E6、E8	上記以外の症状	●修理が必要です。 表示内容を確認して必ず水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

●修理が必要な項目以外でも点検・処置をして症状が改善されない場合は、必ず水栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
（この時、残り時間・異常表示部の表示内容を記録して販売店に説明してください。）
●ご家庭での修理は危険ですからやめてください。

ブザー音について

☛ 内の数字は説明のあるページです。

音の回数	内容	処置のしかた
3回	●終了ブザー	運転が終了した合図です。 終了ブザー音は取り消すこともできます。 17 いろいろな運転のしかた 参照
	●電源スイッチを入れ、いずれかの操作ボタンを押したとき （残り時間・異常表示部に0Pが表示されます）	ドアが閉まっていません。 ドアを確実に閉めてください。 8 ドアの閉閉 参照
5回	●運転中ドアを開けたとき	庫内が高温になっている場合がありますので上ドアの側面取っ手を持って開けてください。

凍結・停電・断水したとき

凍結	①電源スイッチを「切」にし、タンク内に70℃くらいの湯を約3ℓ（ヒーターがつかる程度）入れ、解凍してください。 ②給水・排水ホースの場合は湯につけて解凍してください。 ③解凍後、電源スイッチを「入」にし、「予洗」コースで運転できることを確認してください。
停電	①電源スイッチを「切」にします。 ②停電が回復したら、はじめから操作をやり直してください。
断水	①電源スイッチを「切」にします。 ②断水が回復してから使用する場合は、まず給水ホースを水道栓口からはずし、にごった水がでないことを確認した後、再び正しく取り付けて運転を開始してください。

別売品

お求めの際は、お買い上げの販売店または別紙「お客さまご相談窓口」に記載しているお近くの「修理相談窓口」へご相談ください。

専用洗剤

- 必ず食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。
  - タンブンやタンパクに強い酵素配合
  - ぎとぎやガンコな汚れにも強い



ハイウォッシュA
N-HSBOA(800g入)
(部品番号 617 248 4075)

設置プレート (ステンレス製)



(KA-DW-SP10)
シンクの上のスペースが有効活用できます。
台面に設置する場合にも活用できます。
(幅520×奥行300mm)

給水ホース



付属の給水ホースが短い場合に使用します。

(長さ2.2m：部品番号 617 127 0969)
(長さ3.2m：部品番号 617 127 0952)

カゴ



分け洗いをするときご利用ください。
(予備のカゴとしても使いになると便利です。)

(部品番号 617 237 6749)

マジックジョイント

(食器乾燥機の部品と共通です。)



給水ホースを食器洗い乾燥機専用として排水栓に接続する場合に使用します。

(部品番号 617 146 3446)

高さ調節脚



設置プレートと組合せて、台面に設置できます。

KA-DW-S830 (高さ：180～300mm)
KA-DW-S819 (高さ：120～190mm)

延長用排水ホース

(ホースジョイントつき)



排水ホースを延長する場合に使用します。

(長さ1m：部品番号 617 120 4610)

※別売品は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

保証書について

① この食器洗い乾燥機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入して渡しいたしますので、記載内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

② 食器洗い乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後4年です。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

③ 保証期間は、お買い上げの日から1年です。くわしくは保証書をご覧ください。

④ 保証期間中の修理など、アフターサービスについてお分かりにならない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

⑤ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料で修理させていただきます。

外国での保証は

- この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

転居されるとき

- 電源周波数(Hz)の異なる地区へ転居されても50・60Hz共用ですので部品の取り換えは不要です。
- 本体を移動する前に、本体底面の水抜きキャップを外し、排水処理を行ってください。
(その後水抜きキャップは、もとの位置に正しく取り付けてください。)

総合相談窓口

相談受付時間 月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く) 9：00～12：00、13：00～17：00

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番号にお問い合わせください。

◆北海道地区	TEL 札幌 (011)290－1522	◆東北地区	TEL 仙台 (022) 714－6137
◆関東地区	TEL 東京 (03) 3815－1111	◆中部・北陸地区	TEL 名古屋(052) 533－5245
◆近畿・四国地区	TEL 大阪 (06) 6994－9570	◆中国地区	TEL 広島 (082) 544－6036
◆九州・沖縄地区	TEL 福岡 (092)263－7629		

郵便・FAXでご相談される場合は

東京お客さまセンター	FAX 東京 (03) 5803－3898	〒113-8434	東京都文京区本郷3-10-15
大阪お客さまセンター	FAX 大阪 (06) 6994－9510	〒570-8577	大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理や保証に関するご相談は、お買い上げの販売店、または別紙の修理相談窓口にお問い合わせください。

仕　様

仕様は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

電源電圧	交流100V	水道水圧	0.03 ～ 1MPa(0.3 ～ 10 kgf/cm²)
周波数	50／60Hz共通	洗浄方式	回転噴射ノズル方式
定格電流	11.5／11.9A（50／60Hz）	すすぎ方式	ためすすぎ
消費電力	洗浄モーター　150／190W(50／60Hz) ヒーター　1000W 最大消費電力　1150／1190W(50／60Hz)	乾燥方式	強制排気乾燥方式 ヒーター加熱とファンによる送風
外形寸法	(幅)500mm×(奥行)335mm×(高さ)492mm	標準食器容量	食器点数　約35点
製品質量	約17kg		

電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しております。

愛情点検　長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を!

このような症状はありませんか	• 水もれがする。 • こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。 • 食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感じる。 • 据え付けが傾いたりグラグラしている。 • その他の異常や故障がある。	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

お客さまメモ	
品番	DW－S2000
ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	電話（　）　－
もよりの当社ご相談窓口	電話（　）　－

三洋電機株式会社
ホーム・アプライアンスカンパニー　電化事業部
〒520-2198
滋賀県大津市瀬田1丁目1番1号
電話　(077)543-5601

84500-I